

---

**学生のための**

**アカデミック情報リテラシー**

**Office2016 対応**

**練習問題**

## Word 練習問題

1. 文書『五教科を教える意義』を開きましょう。
2. 全体のフォントを「MS 明朝」、フォントサイズを「11」、1 行の字数を「42」、1 ページの行数を「40」に設定しましょう。
3. 6 行目が 2 ページ目になるように改ページしましょう。
4. 1 ページ目 1 行目を右揃えにしましょう。
5. 1 行目と 2 行目の間に、空白行を 2 行挿入しましょう。
6. 4 行目と 5 行目の間に、空白行を 10 行挿入しましょう。
7. 15 行目と 16 行目のフォントを「MS ゴシック」にし、中央揃えにしましょう。
8. 15 行目のフォントサイズを「24」、16 行目のフォントサイズを「16」にしましょう。
9. 16 行目と 17 行目の間に、空白行を 5 行挿入しましょう。
10. 22 行目のフォントサイズを「14」にして、右揃えにしましょう。
11. フッターに、「-1-, -2-, -3-」形式のページ番号を挿入し、先頭ページにはページ番号が表示されないようにして、2 ページ目が「1」から始まるようにしましょう。
12. 本文の各節にある見出し（2 ページ目「第一章 はじめに」、2 ページ目「第二章 五教科と諸学部」、2 ページ目「第三章 実学的視点」、3 ページ目「第四章 特異点としての社会科」）のスタイルを「見出し 1」にしましょう。
13. 「見出し 1」のフォントを「MS ゴシック」にし、太字にしましょう。
14. 本文の各段落の 1 行目を 1 文字分下げましょう。（文書末の空白行には設定しないように注意しましょう。）
15. 本文「第二章 五教科と諸学部」節の第 2 段落と第 3 段落の間（2 ページ目 26 行目「・・・一部を占めるに過ぎない。」の下）に、以下の表題と表を入れましょう。  
表題（「表 1 大学学部の…」）は中央揃えにしましょう。表の中の文字はフォントサイズを「8」にして中央揃え、表の下の部分（「※割合は…」と「（出典：文部科学省…）」）は、フォントサイズを「8」にして右揃えにしましょう。

表 1 大学学部の関係分野別学生の構成（H15 年度）

分野	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学・薬学	家政学	教育学	その他
人数（人）	409,571	979,660	88,230	446,966	69,447	103,819	53,071	137,261	221,349
割合（％）	16.3	39.0	3.5	17.8	2.8	4.1	2.1	5.5	8.8

※割合は小数点第二位を四捨五入

（出典：文部科学省『データから見る日本の教育 2004』64 ページ）

16. 本文「第二章 五教科と諸学部」節の最後（第 3 段落の下の方、2 ページ目 36 行目「…  
ことが分かる。」の下）に、以下の表題と表を入れましょう。

表のタイトル（「表 2 中学三年間の…」）は中央揃えにしましょう。表の中の文字はフォ  
ントサイズを「8」にして中央揃え、表の下の部分（「※割合は…」と「（出典：文部科学  
省…）」）は、フォントサイズを「8」にして右揃えにしましょう。

表 2 中学三年間の五教科標準授業時数（H15 年度）					
教科	国語	社会	数学	理科	外国語
授業時数（時間）	350	295	315	290	315
割合（％）	23.9	20.1	21.5	19.8	21.5

※割合は小数点第二位を四捨五入  
（出典：文部科学省『データから見る日本の教育 2004』71 ページ）

17. 参考文献として、文書末に以下のように参考文献リストを入力しましょう。参考文献リスト  
の見出しは、墨付きカッコ（【 】）でくくり、フォントサイズを「12」にして太字にし  
ましょう。参考文献の内容は、左インデント 2 文字を設定しましょう。

参考文献

近藤 伊佐美 『私の教育論——受験偏重教育を越えて』，角川書店，1999.

土方 敏蔵 『ゆとり教育の幻想』，石破書店，2004.

18. 本文「第二章 五教科と諸学部」節の第 1 段落 3 行目（2 ページ目 14 行目）「同様に、英  
語は英語学に対応するであろうし」に、文末脚注「英文学に関して言えば、高等学校までの  
英語という教科は国語に比して極端に文学的要素が少ないように思われるが、たとえ英文学  
を含むとしても、本論に大きな影響は及ぼさないと見込まれる。」を入力して、フォントサ  
イズを「9」にしましょう。
19. 本文「第三章 実学的視点」節の第 1 段落 2 行目（3 ページ目 6 行目）「ニューメラシー」  
に、文末脚注「numeracy. 計算能力のこと。」を入力して、フォントサイズを「9」にし  
ましょう。
20. 本文「第四章 特異点としての社会科」節の第 6 段落 4 行目（4 ページ目 7 行目）「…  
非日常の世界で使われるものである」に、文末脚注「裁判員制度は 2009 年より実施され  
た。」を入力して、フォントサイズを「9」にしましょう。
21. 2 ページ目 1 行目（第一章 はじめに）の下に、空白行を挿入しましょう。
22. 21. にならって、各節の見出し（「第二章 五教科と諸学部」「第三章 実学的視点」「第  
四章 特異点としての社会科」「参考文献」）の上下に、空白行を挿入しましょう。
23. 表 1 の表題の上に空白行を挿入し、「（出典：文部科学省『データから見る日本の教育  
2004』64 ページ）の下に空白行を挿入しましょう。
24. 表 2 の表題の上に空白行を挿入しましょう。「（出典：文部科学省『データから見る日本の  
教育 2004』71 ページ）の下に既に空白行が挿入されているのを確認しましょう。
25. ファイル名『五教科を教える意義完成』で『ドキュメント』に保存し、閉じましょう。

## Excel 練習問題

1. ブック『ゴルフ大会』を開きましょう。
2. L6 から L23 に、4 月大会から 9 月大会の平均を求めましょう。
3. M6 から M23 に、学年が 2 年生以下なら N3 のハンデ、3 年生以上なら「0」を表示しましょう。
4. N6 から N23 に、アベレージからハンデを引いたものを求めましょう。
5. B6 から B23 に、スコアが少ない順の順位を求めましょう。
6. F27 から F30 に、学年の人数を求めましょう。
7. G27 から G30 に、学年ごとのスコアの合計を求めましょう。
8. H27 から H30 に、学年ごとのスコアの平均を求めましょう。
9. アベレージ、スコア、スコア合計、スコア平均を、小数点第 1 位までの表示にしましょう。
10. 「ゴルフ大会スコア表」、「学年別成績表」を、表の中央に配置し、フォントサイズを「18」、フォントの色を「オレンジ、アクセント 2」にしましょう。
11. 「ハンデ（2 年生以下）」を、L3 から M3 の中央に配置しましょう。
12. B5 から N5、C6 から C23、E6 から E23、E26 から H26、E27 から E30 を中央揃えにしましょう。
13. B5 から N5、E26 から H26 の塗りつぶしの色を「緑、アクセント 6、白+基本色 80%」にしましょう。
14. B5 から N23 に、格子、太い外枠、E26 から H30 に、格子、太い外枠、L3 から N3 に格子の罫線を引きましょう。
15. シート『Sheet1』をシート『Sheet1』の右にコピーしましょう。
16. シート『Sheet1』のシート名を「スコア表」、シート『Sheet1(2)』のシート名を「グラフ」にしましょう。
17. シート『グラフ』の B5 から N23 を、順位の小さい順に並べ替えましょう。順位が同じときは、学年の低い順に並べましょう。
18. 順位が 5 位までの人の、4 月大会から 9 月大会までのスコアの推移を示すマーカー付き折れ線グラフを作成し、B32 から N57 の位置に配置しましょう。
19. 縦（値）軸の最小値を「70」、にし、グラフタイトル「上位 5 名スコア推移」、凡例を右に表示しましょう。
20. ファイル名『ゴルフ大会完成』で『ドキュメント』に保存し、閉じましょう。